

バングラデシュの水供給困難地域における 給水施設の持続的利用のための環境教育 および維持管理技術支援

〒350-2201
埼玉県鶴ヶ島市富士見4-2-7-306

ひろげる助成

2年目

実践



学校での水利用啓発セミナー実施状況

水利用啓発セミナーの参加者 **1,113人**

維持管理技術支援の対象住民 **2,375人**

今年度計画の達成度 **70%**

活動の全体目標に対する達成度 **40%**

課題

バングラデシュの水供給困難地域で住民運営による給水施設の持続的利用促進と教育現場の実態調査をもとに子ども達の水利用に関する理解度や意識の向上を目指す。

目標

活動地域で子どもたちが水利用について理解し家族と問題解決に向けて情報を共有し、住民主体の給水施設維持管理が行われ、安全な水が供給される。

活動内容と成果

活動1：昨年度実施した教育現場の実態調査の結果をもとに学校関係者の協力を得て、10ユニオンの対象校21校で水利用啓発セミナーを実施した。延べ1,028名の児童生徒と85名の教師がセミナーに参加し、昨年度に引き続き

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

啓発セミナーの実施時期が学校の期末テストに重なり時間確保が難しかった。

■ 工夫した点

啓発セミナー用に小学生でも理解できる絵を多く使った副読本を作成した。セミナーの内容をより実践的なものに変更した。



水利用についての学習を深めることができた。その結果、児童生徒の60%以上が家族と情報を共有し、自ら安全な水の確保のために何らかの行動を起こすことができた。

活動2：5ヵ所を選定し(2県3ユニオン)、今年度の修繕箇所にした。平成27～29年度に修繕された18ヵ所のモニタリングを実施した。



給水施設モニタリング
現地聞き取り調査状況

今後の展望

次年度は住民・生徒・教師・行政関係者の参加による経験交流会と、給水施設の維持管理についてのワークショップを行う。さらにエンドライン調査を実施し、住民・生徒・行政関係者の知識・意識向上を把握する。